

2017年度 経済研究所 講演会

製品開発と原価企画

—トヨタブランドの源泉—

トヨタ自動車は80年の歴史の中で、一度の例外を除いてブランド戦略を持ったことはありません。その例外とはレクサスを立ち上げたときでした。圧倒的な高品質で「良品廉価」のイメージを払拭する必要があったのです。では良品廉価のイメージはどのように構築されたのでしょうか。レクサスの高品質もトヨタの良品廉価も、その実現は製品開発と原価企画の賜物です。トヨタブランドの源泉である、製品開発と原価企画の実態を紹介します。

SBI 大学院大学経営管理研究科アントレプレナー専攻 教授

小林英幸 氏



講師略歴：

1980年名古屋工業大学工学部情報工学科卒業、トヨタ自動車工業(株)入社。

2011年名古屋商科大学大学院マネジメント研究科修了、MBA。2017年名古屋大学大学院経済学研究科後期博士課程修了、博士(経済学)。2009年大阪市立大学非常勤講師(国際管理会計論)、2011年から名古屋工業大学非常勤講師(自動車工学概論)。トヨタ自動車では内装設計、製品企画、原価企画に従事。1989年から3年間設計者として、及び2003年から4年間原価企画部長として、米国勤務。2012年から4年間、原価企画社内教育主任講師。2016年より現職に就任。

著書に『コストデザイン—トヨタ／研究者の実践コミュニティ理論』がある。

2017年 **7月25日** (火) 13:10~14:40

会場 和歌山大学経済学部本館棟5階 第二会議室

ご関心をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます(予約不要・聴講無料)

お問い合わせ：和歌山大学経済学部経済研究所

Tel: 073-457-7633 email: keiken@eco.wakayama-u.ac.jp